

## 要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2-エトキシエチルアセタートのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖  
阻害試験

試験番号 No. 2001-生45

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 2-エトキシエチルアセタート
- 2) 暴露方式： 半止水式(週3回(月、水、金)に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 4.6, 10, 22, 46, 100 mg/L  
公比; 2.2
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10頭/濃度区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1 °C
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： ガスクロマトグラフ法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%を超えた濃度区があったため、各影響濃度の算出には測定値（時間加重平均）を採用した。

### 2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度（LC50）： > 97.4 mg/L

50% 繁殖阻害濃度（EC50）： > 97.4 mg/L

最大無作用濃度（NOEC）： 44.4 mg/L

最小作用濃度（LOEC）： 97.4 mg/L